

神奈川の研究者紹介

氏名	鶴本 明久 (つるもと あきひさ)	
現職	鶴見大学歯学部地域歯科保健学教室 教授	
主な経歴	1979年東京医科歯科大学歯学部卒業 2001年鶴見大学歯学部予防歯科学講座教授	
専攻分野・研究テーマ	地域歯科保健学・ 地域における口腔保健状況の分析と保健プログラムの作成	
主要業績 (これまで 発表した著 書、論文、 行政委員 の経験等)	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cross-cultural comparison of attitudes and opinions on fluorides and fluoridation between Australia and Japan. Community Dent Oral Epidemiol. (1998年) 2. Population Oral Health in Japan: Promoting Fluoride Mouth Rinsing Programs Using the Analytic Hierarchy Process Model – Pathway Determination. Int. J Health Promotion Education 47 : 119-127, 2009. 3. 新予防歯科学 (第4版) 共著、医歯薬出版 (2010年) 4. 歯科医師試験委員 (2007年、2015年) 5. 横浜市保健医療協議会委員 (2013年) 6. 埼玉県吉川市フッ化物応用協議会委員 (2011年) 	
神奈川県との 関わり	<ol style="list-style-type: none"> 1. 神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進協議会委員 2. 8020 運動推進員養成研修会講師 	
メッセージ	<p>わが国における最も重要な口腔保健の目的は「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」に寄与することである。その具体的なプログラムが「8020の達成」と口腔疾患の予防であり、具体的には合理的な公衆衛生的なフッ化物応用が不可欠であるが、わが国ではその進展が非常に遅れている。原因としてはフッ化物応用におけるコンセンサスが進まないことにあるが、その解決方法は行動科学的アプローチであると考えている。このアプローチが合理的なフッ化物応用を可能にすると確信している。</p> <p>神奈川県は口腔疾患の予防対策などが充実した県ではあるが、フッ化物の応用などにおいてもエビデンスレベルの高い保健プログラムが合理的に実施されているとはいえない。有用な保健情報の収集と分析が不十分であるためと思われるが、今後は計画的な保健情報収集プログラムの作成と多様な情報分析の面で連携できるものとする。</p>	
連絡先	〒230-8501 神奈川県横浜市鶴見区鶴見 2-1-3 鶴見大学歯学部地域歯科保健学教室 電話：045-581-1001 (内線 8375)	

神奈川の研究者紹介

氏名	星野 玲子 (ほしの れいこ)	
現職	鶴見大学文学部文化財学科准教授・博士 (文化財学)	
主な経歴	鶴見大学文学研究科博士後期課程修了・学位取得後現職	
専攻分野・研究テーマ	文化財科学、石造文化財の劣化と保存について	
主要業績 (これまで 発表した著 書、論文、 行政委員 の経験等)	<p>【論文】 『鎌倉の「やぐら」に関する研究—やぐらの劣化と保存—』博士論文 2010年 「川崎市市民ミュージアム所蔵出土金属製品の保存処理」(星野・新井悟)文化財学雑誌 第9号 2013年 (2010年より川崎市市民ミュージアムと共同研究を実施) 「覚園寺裏山やぐらに関する研究—『百八やぐら調査報告書』を資料として—」鶴見大学 紀要第49号第4部 2012年 他</p> <p>【学会発表】 「石造文化財表面に発生する析出物の抑制に関する研究」(星野・橋本直樹)文化財保存 修復学会第38回大会 2016年 「遺構の塩類風化—逗子市大切岸の例—」(星野・山崎正彦)東アジア文化遺産保存シン ポジウム 2015年 他</p>	
神奈川県と の関わり	川崎市文化財審議委員 (2010年～)・横浜市文化財保護審議委員 (2014年～) 逗子市まんだら堂やぐら群・大切岸、鎌倉市内のやぐら、石造文化財の調査	
メッセージ	<p>【現在、関心をもっている領域】 石造文化財の劣化原因の調査や保存に向けた取り組みをしています。様々な劣化原因 の中でも最近では塩類風化を中心に研究を進めています。塩類は石造文化財の表面を傷め てしまうため、誰でも低予算でできる調査方法や保存対策を考えています。様々な地域 にいる色々な分野・職の人との関わりを持つことで、新たな気付きがあると日々感じて います。</p> <p>【神奈川県との連携に期待すること】 文化財を守り、保存・活用する際、その地域の方々の力はとても重要なものです。な ぜその文化財が作られたのか、作られたのはどんな時代で何を使ってどうやって作った のか、身近にある文化財の魅力や楽しさをもっと多くの人に知ってもらい、すべての世 代の人と一緒に考え、文化財に関する取り組みができることを期待します。</p>	
連絡先	〒230-8501 神奈川県横浜市鶴見区鶴見 2-1-3 鶴見大学文学部文化財学科 電話：045-580-1001 (代表) FAX：045-581-1391	